

# 区のイメージアップ実行計画（案）

平成19年7月に川崎球場を中心に開催される「アメリカンフットボールワールドカップ2007川崎大会」を契機として、「おもてなしの心」を持ってマナーアップや身近な環境整備に取り組み、区のイメージアップと住み良いまちづくりを推進する。

## 川崎区区民会議

	取り組み事業名	内容	3月	4月	5月	6月	7月	平成20年6月まで	取り組み団体等	
区民と行政の協働	まちを花で飾る	国内・国外から川崎を訪れる方々を歓迎するため、川崎駅から川崎球場までの導線を中心に、区民と行政の協働でまちを花で飾る。	→					→	大会終了後も可能な限りプラントナーを継続設置する。	商店街 海風の森をMAZUつくる会 その他協力団体・個人 学校 川崎区役所
	わかりやすいサインの新設	W杯会場となる川崎球場は川崎駅から距離があり、初めて訪れる人にはわかりにくいことから、ハローブリッジなど起点となる場所に公共施設などを案内するサインを新設する。	→					→	6月末までに設置	まちづくりクラブ 川崎区役所
	川崎駅周辺の公共看板の見直し	川崎駅周辺には、公共の看板やのぼり旗が多数あるが、統一感が無い古くなっているものもあり、まちの美観を損ねている。そのため、公共看板等の見直しを行い、効果的で景観に配慮したサインへの切り替えを進めていく。具体的には、自転車放置及び路上喫煙禁止エリアであることを知らせるステッカーを街路灯やポールに統一的に貼付する。放置自転車撤去のお知らせを黄色の張り紙から耐久性のある看板へと切り替えていく。	→					→	5月末までに設置	まちづくりクラブ 川崎区役所
	「音楽のまち かわさき」のPR	「音楽のまち かわさき」をPRすると同時に大会ムードを盛り上げるため、大会準備期間及び大会期間中に、川崎駅周辺及び富士見公園周辺で「いつでも誰でもコンサート」を実施する。	→					→		区民（音楽家） 川崎区役所
区民	マナー啓発	アメリカンフットボールワールドカップ2007川崎大会の観客や関係者など、日本各地や外国からのお客様に快く過ごしていただくため、自転車放置や路上喫煙を無くしてまちをきれいに保つよう各地域で草の根的によびかける。	→					→		各区民 各団体
	マナー実践	ワールドカップ開催都市にふさわしい品格を維持するため、マナーを守り清潔で安全な歩行空間を維持する。	→					→		各区民
	オープンカフェの実施	アメフトW杯に合わせて、まちの彩りと屋外で気持ちよくお茶を飲める場所を提供するため、市役所通りや国道15号の歩道を利用したオープンカフェを試験的に実施する。						→		まちの景観づくりを推進する会
行政	W杯大型バナーの設置	大会ムードを盛り上げると同時に市民への周知を図るため、教育文化会館の歩道に面した柱に、アメフトW杯を盛り上げる大型バナーを設置する。						→		川崎区役所
	重点的な自転車対策の実施	W杯期間中に集中的な自転車整理及び啓発を実施する。						→		川崎区役所

改善要望	恒久的な駐輪場の整備	川崎駅東口周辺は、放置自転車により歩行が困難であり、区のイメージダウンとなっている。また、歩道上の駐輪場が歩道の幅員を狭めていることから、歩行者と自転車が接触し大変危険である。放置自転車と歩道上の駐輪場を解消するため、川崎区区民会議として恒久的な駐輪場の早期整備を望む。
------	------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

# 次世代を担う子どもの安全・安心を中心とした地域子育て支援実行計画(案)

資料2

近年、子どもが巻き込まれる事件・事故が多発しており、子どもの安全確保は喫緊の課題となっている。そこで、地域みんなの目で子どもを守るため、区内外で取り組まれている子どもの安全を確保する先進的な活動を、区全域に広めていくことを目的とする。

川崎区区民会議

	取り組み事業名	内容	平成19年3月	4月	5月	6月	7月	平成20年6月まで	取り組み団体等
区民と行政の協働	地域見守り看板の設置	地域みんなの目で子どもを守るため、登下校時間に合わせて外の用事をしながら子どもを見守ることを呼びかける「地域見守り看板」を設置する。		→					各区民 町内会・自治会 協力団体(者) 川崎区役所
	「安全・安心推進の日」の設定	地域における安全・安心な環境づくりを推進するため、毎月 日を「安全・安心推進の日」と定め、青色回転灯装着車によるパトロール活動や地域見守り活動を重点的に実施する。		→	→	→			安全・安心まちづくり 推進協議会 川崎区役所
	青色回転灯装着車パトロールの実施	青色回転灯装着車などを利用した地域防犯パトロールを実施する。		→	→	→	→	→	町内会・自治会 協力団体(者) 川崎区役所
区民	「ながら」見守り活動の実施	買い物や犬の散歩、草花の手入れなど外の用事をしながら、子どもの安全を見守る。		→	→	→	→	→	各区民
	商店街見守り放送の実施	登下校時や休日の子どもの安全を確保するため、各地域の商店街において、子どもの安全確保を呼びかける放送を実施する。	4月末までに依頼し、可能なところから順次実施する。	→	→	→	→	→	商店街 各区民
	家庭、学校、地域の連携の強化	地域における日ごろの防犯体制を強化するため、家庭、学校、地域の連携を強化し、子どもにとって安全・安心な環境づくりを行う。また、不審者など子どもの安全が脅かされる危険性がある場合、家庭、学校、地域が連携して子どもを守るため、地域連絡会の設置や連絡網の整備を行う。		→	→	→	→	→	各家庭 各地域 各学校
	日ごろの防犯体制の強化	各地域の実情に応じた見守り活動や声かけ運動を実施し、日ごろの地域防犯体制を強化する。		→	→	→	→	→	町内会・自治会 PTA 各種団体
行政	新入学時の啓発	小学校新入学児・中学校新入学生の安全確保を目的としたチラシを作成し、入学説明会や入学式において保護者に配布する。(12~4月)	→	→				12~4月 →	川崎区役所
	迅速な情報伝達	ホームページやメール配信システムなどを活用し、不審者情報を迅速に提供する。	→	→	→	→	→	→	警察署 市民局 教育委員会 川崎区役所

改善要望	医療体制の充実	小児救急体制の強化や産科医師不足の対策は喫緊の課題であることから、川崎区区民会議として早期改善を望む。
	子育て支援制度の充実	子どもは社会全体の宝であるので、産んでくれた方だけに経済的な負担をかけないよう、川崎区区民会議として子育て支援制度の充実を望む。

## 川崎区区民会議中間報告書の構成（案）

### 報告書の目的

- ・ 市長及び区長へ 1 年間の活動を報告する。
- ・ 区民へ 1 年間の活動を報告し、課題解決の取り組みを呼びかける。
- ・ 活動記録としてまとめる。

委員長あいさつ

委員及び参与名簿

目次

審議経過

平成 18 年度審議テーマ（選定経過含む）

課題解決に向けた実行計画

議論のまとめ

イメージアップ部会まち歩き 実施結果

### 資料編

- ・ 川崎市区民会議条例
- ・ 川崎市区民会議条例施行規則
- ・ 川崎区区民会議要綱
- ・ 川崎区区民会議運営要領
- ・ 会議録
- ・ 傍聴者からの御意見
- ・ 区民会議アンケート集計結果

# 平成19年度 川崎区協働推進事業 (案)

資料4

は新規事業 は拡充事業

合計55,000千円

## 安全・安心・快適なまちづくり

計1,440千円

1	(仮称)自転車マナーアップ事業	地域振興課(地域安全、身近な環境整備)	区内の自転車等放置禁止区域を中心に、啓発活動を推進するとともに、子どもたちに自転車の乗り方、交通ルールの遵守とマナーの実践を呼びかけ、「川崎区交通安全子ども自転車大会」を開催し安全教育を行う。 580千円(消耗品費210千円、委託料370千円)
2	安全・安心まちづくり事業	地域振興課(地域活動支援)	防犯・防火・交通安全等について活動している市民団体との連携を強化し、安全・安心な地域生活環境づくりを推進する。 860千円(消耗品費355千円、郵便料26千円、委託料411千円など)

## 健やかに暮らすまちづくり

計530千円

3	障害者の地域での暮らし応援事業	保健福祉サービス課(障害者支援)	精神障害者が安心して地域で暮らせるまちづくりを目指して、関係機関のネットワークを推進することを目的に交流会を開催し、情報交換を行う。 50千円(報償費25千円、需用費5千円、会場借上料20千円)
4	すこやか子どもの歯支援事業	地域保健福祉課(健康づくり)	川崎区は市内で最も乳幼児のむし歯の罹患率が高いことから、むし歯のない元気な子どもに育てるための歯科保健に関する情報発信、フッ化物の正しい応用方法を普及啓発する。 480千円(報償費248千円、消耗品費193千円など)

## 子育てを支援するまちづくり

計7,612千円

5	子育てママの健康メニューづくり応援事業	地域保健福祉課(健康づくり)	区内10~30代の子育て中の母親、子育てグループやボランティアなどを対象に子どもや家庭に望ましい食習慣を身につけるための講習会を実施する。 1,033千円(委託料1,033千円)
6	かわさきく子育てフェスタ事業	保健福祉サービス課(児童家庭支援)	就学前の子どもと親を対象に子育てに関する各種イベントを開催し子育て支援のPRと共に支援の輪を広げ、子育てしやすい川崎区を目指す。 351千円(報償費126千円、印刷製本費125千円、保険料40千円など)
7	かわさきく子育てガイド・かわらばん事業	保健福祉サービス課(児童家庭支援)	ソフト情報を掲載した「かわさきく子育てかわらばん」を発行する。「子育てガイドさんぼみち」の外国語版(簡易版)を作成するとともに昨年作成した外国語版マップにタガログ語版の追加作成をする。 2,963千円(報償費24千円、委託料2,883千円、消耗品費56千円)
8	川崎区地域子育て環境整備事業		区内でいきいきと子育てをしやすい地域づくりを推進する。 計 3,265千円
(1)	こども総合支援ネットワーク環境整備事業	こども総合支援	区民と行政の協働により就学前後を通じたこども総合支援のネットワーク体制を推進する。 391千円(報償費208千円、消耗品費80千円、郵便料20千円など)
(2)	総合的こども支援情報ホームページ事業	こども総合支援担当・総務企画課・保健福祉サービス課	子育て・育ちに関する総合的支援情報の充実を図るために、検索しやすいホームページの更新を行い、身近な情報を発信する。 126千円(委託料126千円)
(3)	通訳・翻訳バンク事業(新規)	こども総合支援	外国人の多い川崎区では、日本語のみの支援では意思疎通が困難であり、子ども支援関係機関等では通訳及び翻訳ニーズが高い。外国語の能力を有する地域人材を活用して通訳、翻訳を行う。 334千円(委託料334千円)
(4)	男性の育児参加促進事業(新規)	こども総合支援	父親の育児参加を促進するために、区内子育て支援センターにおいてダイナミックな動きを取り入れた触れ合い教室を土曜日に開催する。 153千円(報償費24千円、消耗品費119千円、保険料10千円)
(5)	(仮称)幼・保・小連携の入学準備支援事業(新規)	こども総合支援	小学校の入学を控えた年長児の正しい生活習慣付けに向けた啓発チラシを作成し、区内の幼稚園・保育園と連携し配布する。 176千円(印刷製本費176千円)
(6)	新入学児・新入学生の安全確保啓発事業	こども総合支援	小学校、中学校への入学説明会等において、子どもの安全確保のための啓発チラシを作成、配布する。 137千円(印刷製本費137千円)
(7)	川崎区こどもの安全確保対策事業(新規)	こども総合支援	子どもの安全・安心を推進するために、地域における見守り看板の作成及び広報テープを作成し、町内会、商店街等と連携し看板掲示、テープの放送により、子どもの危険に対する抑止を図る。 1,563千円(委託料1,563千円)
(8)	川崎区こども情報コーナー整備事業(新規)	こども総合支援	「こども相談」窓口の開設と併せて、子ども支援に関する紙媒体による情報を一元的に区民に提供する。さらに、関係団体間の情報の共有化を図る。 385千円(消耗品費142千円、備品購入費243千円)

## 良好な生活環境を推進するまちづくり

計1,401千円

9	ねこの適正飼養推進事業(新規)	衛生課	川崎区ではねこに関する苦情等の割合が市内の1/3を占め、地域課題となっていることから、ねこの正しい飼い方の推進に取り組む。 1,401千円(報償費80千円、印刷製本費336千円、委託料504千円など)
---	-----------------	-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 観光資源を活かしたまちづくり

計5,393千円

10	観光と地域活性化事業	地域振興課(まちづくり)	東海道川崎宿2023、町内会、商店街、企業、かわさき歴史ガイド協会等との協働により、歴史や文化など川崎ならではの観光資源を活かした回遊性に富むにぎわいのあるまちづくりを推進する。 5,393千円(委託料2,626千円、印刷製本費810千円、普通旅費100千円など)
----	------------	--------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 地域の可能性を活かしたまちづくり

計13,052千円

11	かわさき産業ミュージアム推進事業	地域振興課(まちづくり)	川崎区に点在する近代化遺産や産業文化財を川崎区の魅力ある資源として位置づけ、技術と歴史に基づくものづくり文化や環境調和型の都市形成を広く内外に発信するためにネットワーク型ミュージアムづくりを推進する。 2,974千円(消耗品費68千円、郵便料81千円、委託料2,797千円など)
12	「音楽のまち・かわさき」づくり事業	地域振興課(まちづくり)	誰もが気楽に音楽に触れ、また発表することができる機会を設けることで、川崎駅周辺をいつでも音楽が聞こえるまちにすることを目的に「いつでも誰でもコンサート」を実施する。 3,500千円(委託料3,500千円)
13	企業市民交流事業	地域振興課(まちづくり)	生活市民と企業市民との意見交流の中から発掘された様々な地域資源を観光や教育に活用する取組みを行なう。 6,578千円(印刷製本費2,267千円、郵便料279千円、委託料3,986千円など)

## 協働のまちづくり

計11,930千円

14	まちづくり推進事業	地域振興課(まちづくり)	クラブ員の創意により様々な活動を展開している区内10地域にある「まちづくりクラブ」との協働により、地域の課題解決を図る。 5,534千円(消耗品費164千円、印刷製本費708千円、委託料4,200千円など)
15	市民活動支援事業	地域振興課(まちづくり)	近年ますます活発になっている非営利的社会貢献活動を行なう個人や団体を支援するため、教育文化会館との連携により、区の拠点を整備し市民活動を支援する。 3,827千円(事務用機器賃借料273千円、庁用器具購入費1,082千円など)
16	パワフルかわさき区民綱引き大会	地域振興課(地域活動支援)	かわさき市民まつりにおける恒例の区民イベントとして定着している「パワフルかわさき区民綱引き大会」を開催する。 2,569千円(郵便料24千円、委託料2,540千円など)

## 快適な区役所づくり

計9,390千円

17	区民サービス向上事業	総務企画課(庶務)	川崎区役所の窓口サービスの向上を目指して窓口改善検討委員会あるいは各課を中心に取組みを展開する。 1,760千円(需用費1,256千円、委託料504千円)
18	川崎区役所庁舎内飾花事業	総務企画課(企画調整)	区役所来庁者に潤いと安らぎを提供するために、区役所1階ホールにいけばなを飾る。 189千円(委託料189千円)
19	川崎区マップ作成事業	総務企画課(庶務)	「かわさき区民生活マップ」の増刷と改訂を行う。生活に密着した地域情報を盛り込み内容の充実を図り区民へ配布する。 908千円(印刷製本費908千円)
20	ウェルカム川崎区事業	総務企画課(庶務)	引越し等で新たに川崎区に転入されてきた区民を対象に、川崎区のロゴマークの入ったバッグに区民生活に役立つ情報冊子等を入れ、転入バックとして無償配布し区のイメージアップを図る。 1,479千円(消耗品費1,479千円)
21	インターネット映像配信事業(新規)	総務企画課(企画調整)	区民との協働イベントや動画で効果的に広報できる事業等をインターネットで配信し、より多くの区民に多様な形でわかりやすく広報する。 520千円(消耗品費56千円、委託料336千円、備品購入費128千円)
22	区民にやさしいホームページづくり事業	総務企画課(企画調整)	区民にわかりやすくやさしい川崎区ホームページにするために、アクセシビリティ診断や職員向け研修を行い、障害者、高齢者等に配慮したホームページづくりを推進する。 817千円(委託料504千円、OA機器賃借料313千円)
23	外国人向けホームページ作成事業(新規)	総務企画課(企画調整)	外国人向けの基礎的生活情報や区外在住者向けの区ホームページについて、英語のページを作成する。 506千円(委託料506千円)
24	市政だより川崎区版特別号発行事業(新規)	総務企画課(企画調整)	市政だより区版特別号を発行(平成20年春)し、区役所発の地域課題解決に向けた情報、保健福祉情報等をきめ細やかに区民へ広報する。 3,211千円(委託料3,211千円)

## その他

計4,252千円

25	緊急対応事業		区民要望や地域課題に対し、緊急性・必要性・重要性等をもとに事業実施について企画調整会議等に諮るなどしながらかつて的確に対応する。 4,252千円
----	--------	--	-----------------------------------------------------------------------------